

第15回東アジア首脳会議（EAS）

議長声明（和文概要）

（2020年11月14日）

【EASのレビューと将来の方向性】

- 急速に変化する地域的及び世界的な戦略的複雑性に直面する中で、EASの妥当性及び有効性を確保するためにEASを一層強化する必要性を強調。多国間主義及び国際法に従った国際秩序の強化におけるEASの重要性を強調。また、国際法に沿う形での地域における国家間関係の調整にあたって、ルールに基づいたアプローチに積極的に貢献するEASの役割を再確認。EAS首脳の間で、戦略的課題に関して自由で建設的な対話を行うことの重要性を認識。（パラグラフ4）

【協力分野】

（環境及びエネルギー）

- クリーンでグリーンな技術の促進、気候変動・大気環境・ゴミや新たな問題であるマイクロプラスチック排出を含む海岸及び海洋汚染等の国境を越えた課題、並びに廃棄物及び水資源の管理への対処によるものを含め、持続可能で包摂的かつ包括的な回復に向けた機会を認識。（パラグラフ8）

- 天然ガス、水素、カーボンリサイクル及び二酸化炭素回収・有効利用・貯蓄（CCUS）の促進に関するEASの拡大イニシアティブに留意するとともに、これらのイニシアティブが地域のエネルギー転換に貢献することを期待。新型コロナ後の地域のエネルギー状況を反映させた質の高い政策研究及び実用的な提言を引き続き行うよう、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）に懇願。（パラグラフ9）

（教育）

- 生涯使えるスキル構築、デジタルリテラシー及び質の高い教育の強化を視野に、マニラ行動計画の下での関連する活動をASEAN教育作業計画2016－2020に沿ったものとすることを懇願。（パラグラフ12）

（財政）

- 特に、新型コロナ感染拡大の文脈において、リスクと脆弱性の継続的な監

視により経済成長を支援するにあたり、財政的安定の重要性を改めて表明。継続的な地域的財政協力及び国際金融機関とのより緊密な協力を通じて外部からのショックに対する地域の強靱性を一層強化することへの支援を表明。
(パラグラフ 13)

(国際保健及び感染症)

- 質の高い、手頃で安全かつ効果的な新型コロナワクチン、治療法及び診断への公平なアクセスの促進に関するコミットメントを再確認。新型コロナの感染拡大の保健、経済、安全上の影響に対処するため、国連及びWHOと協議の上、包摂的に地域及び世界レベルで共に取り組むことを約束。これに関して、新型コロナ感染症対応に係る第73回WHO総会決議の採択を歓迎するとともに、同決議のフォローアップの重要性を再確認。(パラグラフ 14)
- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの実現を含む、新型コロナ及び将来の公衆衛生緊急事態への準備、予防、探知及び対応に関する共同の取組と調和のとれた協力が進展していることを認識。新型コロナに関するASEAN対応基金、地域医療物資備蓄及び公衆衛生緊急事態の標準運用手続、ASEAN感染症対策センター及び包括的地域回復枠組を含め、新型コロナ感染拡大及び将来の公衆衛生緊急事態に対する地域の準備及び対応を強化するため、ASEAN主要イニシアティブが立ち上げられたことを歓迎。(パラグラフ 16)
- 新型コロナの影響に対処するためにとられるいかなる貿易制限的な緊急措置も、的を絞り、目的に照らし比例的、透明、一時的かつWTOルールに整合的でなければならず、不必要な貿易障壁や世界と地域のサプライチェーンの混乱を生じさせないものであるべきことを強調。特に、新型コロナ感染拡大の影響に対処するためのデジタル技術の加速する採用等、社会・経済におけるデジタル変革の加速する速さ、偽情報と誤情報に対処する重要性を認識。(パラグラフ 17)
- 質、効率、安全、平等なアクセス及び手頃な価格といった目的に従いながら、COVAXファシリティを通したものも含め、対ウイルス医薬品及びワクチンの開発、製造及び分配に関して協力することの重要性を認識。ワクチンの開発と供給における国際ワクチン研究所の役割に留意。(パラグラフ 18)

- 新型コロナの安全で質の高い効果的な医薬品、診断テスト及びワクチンへの公正で公平なアクセスの決定的な重要性を強調。(パラグラフ 19)

(自然災害管理)

- 地域が自然災害多発地であることを認識し、災害管理に関してより緊密な協力を促進するとともに、災害管理及び災害対応に関する地域及びサブリージョナルの能力構築を支援する必要性を強調。ASEAN防災緊急対応協定(AADMER)作業計画2021-2025の実施においてASEAN防災委員会(ACDM)を支援する旨のコミットメントを表明。(パラグラフ 21)

(ASEAN連結性)

- 東アジアにおける様々な連結性戦略間のより大きなシナジーを促進し、国際基準に従って持続可能で透明かつ質の高いインフラ開発を促進することの重要性を強調。(パラグラフ 23)

(経済協力及び貿易)

- 世界及び地域の貿易及び投資に関する新型コロナ感染拡大の経済的影響の軽減、マクロ経済及び財政的安定性の確保、地域でのビジネス及び消費者の安心の回復のため、行動することを決意。地域における経済成長の促進、サプライチェーンと市場安定性の維持、経済的強靱性の強化の重要性を認識。(パラグラフ 25)

- 市場の開放並びに貿易及びグローバル・サプライチェーンの混乱の最小化を含めた貿易と投資を促進する旨のコミットメントを再確認。東アジア地域包括的経済連携(RCEP)協定の本年中の署名に向けたRCEP参加国の集中的な取組を認識。(パラグラフ 26)

(食料安全保障)

- 食料安全保障及び栄養の強化に関する協力を一層強化するよう、EAS参加国に慫慂。(パラグラフ 28)

(海洋協力)

- EAS参加国間の海洋協力強化への支持を表明。ASEAN地域フォーラム(ARF)、拡大ASEAN国防相会議(ADMM+)及び拡大ASEA

N海洋フォーラム（EAMF）等の他のASEAN主導の枠組みとの重複を避けるために協力を強化する必要性を強調。（パラグラフ29）

（その他）

- 情報通技術の利活用におけるセキュリティの重要性の増大を強調。開放的、安全、安定、利用しやすい、互換性のある平和的な情報通信環境を促進し、国家間の信用・信頼の醸成や能力向上を通じて紛争と危機を防止する必要性を再確認。（パラグラフ32）

【地域及び国際情勢】

（朝鮮半島）

- 朝鮮半島の平和プロセスを前進する上での、過去3年間にわたる取組と成果を認識。非核化された朝鮮半島の恒久的な平和及び安定を実現するため、全ての当事者による継続した持続的な対話及び平和的解決の重要性を強調。全ての当事者に対し、平和的な対話を再開するとともに、韓国と北朝鮮の間の板門店宣言文及び平壤共同宣言並びに米国と北朝鮮の首脳による共同声明の完全かつ迅速な実施を通じたものを含め、朝鮮半島における恒久的な平和、安定及び非核化の実現に向けて、建設的に取り組み続けることを求めた。朝鮮半島の平和と安定を維持することの重要性を強調し、南北関係を前進させるための韓国の提案に留意。全ての国連加盟国による全ての関連する国連安保理決議の完全な履行を改めて表明。朝鮮半島の完全な、検証可能な、かつ不可逆的な非核化を実現するための国際的な取組に留意。複数の首脳が、拉致問題の解決を含む国際社会の人道上の懸念に対処することの重要性を強調。（パラグラフ35）

（南シナ海）

- 南シナ海における平和、安定、安全保障、安全並びに航行及び上空飛行の自由を維持・促進することの重要性を再確認するとともに、特に新型コロナに打ち勝とうと共闘している今この時期に、南シナ海を平和、安定及び繁栄の海とすることの利益を認識。2002年の南シナ海行動宣言（DOC）全体の完全かつ実効的な履行の重要性を強調。相互に合意されたタイムラインに沿って、1982年の国連海洋法条約（UNCLOS）を含む国際法に整合的で、実効的かつ実質的な南シナ海における行動規範（COC）の早期妥結に向けた実質的な交渉を含め、ASEANと中国との間の継続的な協力に留意。パンデミック状況の進展にもかかわらず、COC交渉テキストシングル

ドラフトの二読目を再開するためになされた努力に留意。C O C交渉に資する環境を維持・促進の必要性を強調し、従って緊張を緩和し、事故、誤解、誤算のリスクを軽減させ得る実践的な措置を歓迎。特に当事者間の信用及び信頼を高めるための信頼醸成と予防措置の実施の重要性を強調し、U N C L O Sを含む国際法遵守の重要性を再確認。(パラグラフ36)

- 南シナ海の状況について議論し、信用及び信頼を損ない、緊張を高め、またこの地域の平和と安全保障及び安定を損ない得るこの地域における埋め立てや深刻な事案を含む最近の事態の進行に対して、一部の首脳が深刻な懸念を表明。相互の信用及び信頼を高め、紛争を複雑化又は悪化させ平和と安定に影響し得る活動の実施に当たっては自制し、状況を更に複雑化させる可能性のある行動を回避する必要性を再確認。更に1982年のU N C L O Sを含む普遍的に認められた国際法の原則に沿った紛争の平和的解決を追求する必要性を再確認。非軍事化及び、D O Cで言及された事項を含め、南シナ海における状況を更に複雑化させ緊張を高め得るクレイマント国やその他全ての国による全ての活動における自制の重要性を強調。(パラグラフ37)

(暴力的過激主義・急進化・テロ対策)

- 様々な国における最近のテロ攻撃を強く非難。適用可能な場合にはテロ対策に関するA S E A N憲章、国連グローバル・テロ対策戦略及び関連国連安保理決議等に基づき、国、サブリージョナル、地域レベルのテロ対策措置の効果的な実施等を通じ、テロを助長する暴力的過激主義、急進化及びテロと闘うとのコミットメントを再確認。テロリストによる脅威に立ち向かうために、全ての国家及び国際的・地域的な機関の積極的な参加及び協力を伴う持続的かつ包括的アプローチを各国が支持する必要性を強調。(パラグラフ38)

- A S E A Nの中心性、開放性、透明性、包摂性、ルールに基づいた枠組、グッド・ガバナンス、主権尊重、不干渉、既存の協力枠組との補完性、平等、相互尊重、相互利益及び国際法遵守の強化を含む原則を掲げるインド太平洋に関するA S E A Nアウトルック(A O I P)の重要性をA S E A N首脳が強調。が重要していることを認識。A O I Pが、平和、安定、自由、繁栄に貢献するための、アジア太平洋及びインド洋地域におけるA S E A Nの関与の指針となることを認識。関与を促進し、A O I Pに記載されている優先分野において関与を促進し、協力の強化を追求することを期待。(パラグラフ40)

(了)